

# 支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開  
若い世代の育成に全力をさげる  
都民代表:吉田つとむ(町田市議)

＜編集発行＞

支持政党なし TOKYO  
〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



インターンシッ好評  
若者育成・就業支援

## 税の公平負担: 緊急に消費税0%

### 支持政党なし TOKYO 自治宣言

政府が緊急事態制限を出し、不要不急を除いた人の外食と、午後8時以降飲食店の営業自粛を求める一方で、その協力者には1日に6万円の協力金が支払われている。小規模な飲食店(スナック等を含む)では、それ目当ての休業している店が一挙に増えました。こうした中で、人はこの緊急事態制限が更に延長されないかと願う人が出ても仕方がないことです。今では、その仕入れ先にも一定の協力金を出そうということが決められました。

今の傾向は、経済学における法則コモンズの悲劇と呼ばれ、多数者が利用できる共有資源が乱獲されることによって資源の枯渇を招いてしまう話と同じです。これでは、まじめに汗を流してお金を得るより、黙って政府のやることに従っておれば、お金が入ってくるシステムになり、該当者には失礼ながら、「勤労」という言葉は死語になっているでしょう。

経済が回復するには、誰もが消費を増やしたくなる方法、今の消費税(10%)をゼロにして、全ての消費を実質的に10%引きにして、一般の消費者に購買意欲を持ってもらう方法が正しく、消費を増やす方法だと考えています。



## オリンピックを中止しよう!③

短期的に見ると、東京都と国は、緊急事態宣言の終了を見越して、都内の新規感染は日に500人を切るタイミングを見計らっており、それはオリンピック種目で決勝リーグの進出の可能性を測る感覚に写って見えてきます。

ただし、現実の東京は、新規外来変異株の感染拡大サイクルに入っているのではないかと言う懸念が起きてきます。それは、海外旅行に行っていたわけではなく、しかも、外国人との接触も見当たらない人が変異株の感染に見舞われていたことで明らかでしょう。今後の防衛策として、当面、中国の春節休暇の大旅行客や、外国人の研修労働者の入国を遮断しないと一挙に、感染が拡大することに繋がると思います。



夕闇の羽田空港 (2020.01 ロビーより撮影)

中期的には、新型コロナワクチンの奪い合いが始まっています。欧米がワクチンの域内囲い込みを至上命題にしています。アフリカ諸国はその不公平をなじっていますが、ワクチン開発は民間企業であり、高額購入者とその国家を優先するのは避けがたいことです。他方で、その間に、ロシアと中国が、ワクチン供給に進出しており、それを頼る国家があっても不思議ではありません。それらは、ワクチンをほしい国家とその国民が選択することであり、日本は自らに供給できる保障を確保することが唯一の策でしょう。その確保は、政府の責任であることは明白です。

- ★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。
- ★「良識ある保守主義」は、権威を否定し、柔らかい思考にもとづいて議論をする立場です。

# 支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開  
若い世代の育成に全力をささげる  
都民代表:吉田つとむ(町田市議)



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読み  
して送信



インターン生募集中  
社会見学・体験勉強

## 研修先の企業・事業所は多岐に

### 事業所、企業の訪問で経営者社長と直接面談

吉田つとむは、これまでに培った縁で様々な事業所や企業にインターン生を同行しています。その一つに東海汽船(東証2部上場)という海運会社があります。東京と伊豆諸島などを結ぶ航路を運航している。山崎潤一社長と面談し、その関グループのクルーズ船に載せていただくコースも設定したことがあります。学生に大変人気がありました。とは言っても、それが就活に直接つながっているのかと言えば、そうではなく、あくまで、相手の社長さんの好意で、面談を引き受けていただいているものです。



## インターンシップの美術館見学

### 吉田つとむのインターンシップの定番コース

国立博物館をはじめ、国立新美術館、国立近代美術館、東京都美術館、横浜美術館等、更に、町田市立国際版画美術館の見学が何度も行きました。特別展に限らず、一般の時期を含めて、ほぼインターン期間中に、最低1回は観覧の機会を設定しています。



こうした施設で適切な催事を行っていない場合、民間系財団が運営する SOMPO、サントリ一、出光等の各美術館に出向くこともあります。



この写真は横浜美術館のトリエンナーレ展示

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。

★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

●昨年春以降の研修では、特別の記念撮影を除いて、行動中は全てマスクをかけています。